

様式 1 （主な取組）

「主な取組」 検証票

施策展開	1-(1)-ウ	人と環境に優しいまちづくりの推進	施 策	①次世代型交通環境の形成
			施策の小項目名	○次世代自動車の普及促進
主な取組	電動車転換促進事業		対応する成果指標	電動車（EV・PHV）普及率
施策の方向	・脱炭素型の交通環境を推進するため、電気自動車（EV）等の環境に優しい次世代自動車の普及促進、EV利用環境の充実に取り組みます。			

1 取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施 主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
1 県公用車を率先して電動車に転換し、併せて県有施設の充電環境を整備することで、電動化に向けた基盤整備を図る。 2 県内を運行する路線バス・観光バス等へEVバス導入を支援するため、国の補助事業に県の補助金を上乗せし、事業用バスの電動化支援を行う。	県	電動車の普及促進		
		県公用車（普通乗用車）の電動車導入率		
		15%	20%	32%
担当部課【連絡先】	環境部環境再生課		【 098-866-2064 】	関連URL —

様式 1 （主な取組）

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況

予算事業名

電動車転換促進事業

主な財源

実施方法

R4年度
決算額

R5年度
決算見込額

県単等

直接実施

121, 917

238, 859

令和5年度活動内容

県公用車56台を電動車に転換し、民間のEVバス 1 台・充電設備 1 基の導入を支援した。なお、充電設備の設置工事は休止。

予算事業名

電動車転換促進事業

R6年度

主な財源

実施方法

当初予算額

県単等

直接実施

312, 856

令和6年度活動計画

県公用車47台を電動車に転換する。また、県有施設の充電設備を 6 施設25基設置する。

活動指標名

県公用車（普通乗用車）の電動車導入率

R3年度

R4年度

R5年度

実績値

10%

13%

22%

目標値 (B)

20%

達成割合
A/B

100. 0%

進捗状況

順調

活動概要

令和 5 年度は県公用車56台を電動車に転換した。なお、電動車導入状況に合わせた充電環境が確保できたため、令和 5 年度は充電設備の設置工事は休止した。また、民間のEVバス 1 台、充電設備 1 基の導入を支援した。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

令和 3 年度からの累計で県公用車のうち131台を電動車に転換した。充電設備については、36施設121基整備している。活動指標である目標値20%を上回る22%であったことから、順調と判定した。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和5年度の取組改善案

反映状況

○電動車の調達が不調とならないよう、自動車メーカー等から電動車への転換を進めるに当たって必要な情報収集を行う。
○電動車への転換を促進するため、電動車への転換や電動車充電設備の導入を支援する必要がある。

○令和 3 年度からの累計で県公用車のうち131台を電動車に転換し、充電設備については、36施設121基整備している。加えてモデル事業として太陽光発電及び蓄電池を加えた設備を1基整備している。

- 2 -

様式 1 （主な取組）

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	本県では運輸部門の二酸化炭素排出量が高い割合を占めており、電動車への転換を進めていく必要がある。	⑧ その他	電動車への転換を促進するため、電動車への転換や電動車充電設備の導入を支援する必要がある。

様式 1 （主な取組）

「主な取組」 検証票

施策展開	1-(1)-ウ	人と環境に優しいまちづくりの推進	施 策	①次世代型交通環境の形成
			施策の小項目名	○次世代自動車の普及促進
主な取組	次世代自動車普及に向けた啓発活動		対応する成果指標	電動車（EV・PHV）普及率
施策の方向	・脱炭素型の交通環境を推進するため、電気自動車（EV）等の環境に優しい次世代自動車の普及促進、EV利用環境の充実に取り組みます。			

1 取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施 主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
沖縄県地球温暖化防止活動推進センターやおきなわアジェンダ21県民会議などの関係機関と連携し、電気自動車などの次世代自動車の普及促進に向けた啓発イベントを行う。	県	イベント等を活用した次世代自動車の普及啓発		
		普及啓発イベントの実施件数（累計）		
		2件	2件（4件）	2件（6件）
担当部課【連絡先】	環境部環境再生課		【 098-866-2064 】	関連URL
				—

様式 1（主な取組）

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況

予算事業名	環境月間街頭キャンペーン等			
主な財源	実施方法	R4年度 決算額	R5年度 決算見込額	
県単等	直接実施	27,440	0	
令和5年度活動内容				
6月10日にサンエー那覇メインプレイスで実施した街頭キャンペーンなどの環境月間行事を通して、次世代自動車の普及に向けた啓発活動を行った。				
予算事業名	—			
主な財源	実施方法	R4年度 決算額	R5年度 決算見込額	
—	—	27,440	0	
令和5年度活動内容				
11月5日にサンエー那覇メインプレイスで開催した県民環境フェアを通して、次世代自動車の普及を含む啓発活動を行った。				

(単位：千円)

予算事業名	環境月間街頭キャンペーン等		
R6年度			
主な財源	実施方法	当初予算額	
県単等	直接実施	57	
令和6年度活動計画			
街頭キャンペーンなど環境月間行事を通して、次世代自動車の普及に向けた啓発活動を行う。			
予算事業名	—		
R6年度			
主な財源	実施方法	当初予算額	
—	—	0	
令和6年度活動計画			
県民環境フェアを通して、次世代自動車の普及を含む啓発活動を行う。			

活動指標名	普及啓発イベントの実施件数（累計）		R5年度			進捗状況	活動概要
実績値	R3年度	R4年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
	0件	2件	2件	2 件（4 件）	100.0%		
街頭キャンペーン（参加者：231名）などの環境月間行事及び県民環境フェア（参加者：2700名）において次世代自動車の普及を含む啓発活動を行った。							

様式1（主な取組）

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
街頭キャンペーン（参加者：231名）などの環境月間行事及び県民環境フェア（参加者：2700名）において、次世代自動車の普及に向けた啓発活動を行っており、活動指標の目標値を達成し、次世代自動車の普及促進に寄与したことから、順調と判定した。	
（2）これまでの改善案の反映状況	
令和5年度の取組改善案	反映状況
○デコ活の趣旨を踏まえ、令和4年度に立ち上げた「沖縄県の気候変動適応情報」のウェブサイトで次世代自動車の情報発信を図る。 ○県の所有する電動車の活用や県内自動車メーカーとの協力等によって、県民環境フェア等各種イベントにおいて次世代自動車の展示を行う。 ○再生可能エネルギー由来の電力を活用した次世代自動車の運用（ゼロカーボン・ドライブ）や災害時の電力融通など、次世代自動車の多様な運用方法の普及啓発を行う。	○「沖縄県の気候変動適応情報」のウェブサイトで次世代自動車の情報発信を図った。 ○県民環境フェア等各種イベントにおいて次世代自動車等の普及啓発を行った。

3 取組の検証（Check）		4 取組の改善案（Action）	
類型	内容	類型	内容
④ 社会・経済情勢の変化（外部環境の変化）	国が中心となり推進しているデコ活の趣旨を踏まえつつ、普及啓発を推進する必要がある。	⑤ 情報発信等の強化・改善	デコ活の趣旨を踏まえ、令和4年度に立ち上げた「沖縄県の気候変動適応情報」のウェブサイトで次世代自動車の情報発信を図る。
		⑤ 情報発信等の強化・改善	県の所有する電動車の活用や県内自動車メーカーとの協力等によって、県民環境フェア等各種イベントにおいて次世代自動車の展示を行う。
		⑤ 情報発信等の強化・改善	再生可能エネルギー由来の電力を活用した次世代自動車の運用（ゼロカーボン・ドライブ）や災害時の電力融通など、次世代自動車の多様な運用方法の普及啓発を行う。

様式1（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	1-(1)-ウ	人と環境に優しいまちづくりの推進	施 策	③花と緑にあふれる環境づくり
			施策の小項目名	○全島緑化の推進
主な取組	全島緑化活動の推進		対応する成果指標	緑化活動団体数
施策の方向	・ 県民一体となった全島緑化の推進については、行政のみならず地域住民、企業等との共同による県民一体となった緑化を推進するとともに、在来種の活用を推進し、沖縄らしい緑地の創出に取り組みます。			

1 取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
「100先を見据えた緑の美ら島の創世」を目指すことを目的に、県民一体となった緑化を推進するため、各種イベントの開催により普及啓発を行うとともに、市町村や緑化施策に資する企業・団体などに対し、緑化活動の支援を行う。	県,市町村,団体等	普及啓発イベント等の実施及び地域住民等が行う緑化活動の支援		
		緑化活動件数（累計）		
		250件	250件（500件）	250件（750件）
担当部課【連絡先】	環境部環境再生課	【 098-866-2064 】	関連URL	https://www.midorihana-okinawa.jp/

様式 1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況					(単位：千円)				
予算事業名		緑化推進費、全島緑・花・香りいっぱい運動事業			予算事業名		緑化推進費、全島緑・花・香りいっぱい運動事業		
主な財源		実施方法	R4年度 決算額	R5年度 決算見込額					
県単等		委託	20, 214	17, 634					
令和5年度活動内容								令和6年度活動計画	
緑化活動に関するイベントや普及啓発及び、緑化推進に取り組む各種団体、企業、市町村を支援することにより、各種緑化活動が実施された。								引き続き、緑化推進を図るため、イベント開催による普及啓発や緑化活動に取り組む各種団体を支援する。	
予算事業名		緑化木保全対策事業							
主な財源		実施方法	R4年度 決算額	R5年度 決算見込額					
一括交付金 (ソフト)		補助	45, 871	42, 696					
令和5年度活動内容								令和6年度活動計画	
市町村が実施する緑化木の病虫害防除に対して支援した。								引き続き、緑化推進を図るため、市町村が実施する緑化木の病虫害防除に対して支援する。	

活動指標名		緑化活動件数（累計）		R5年度			進捗状況	活動概要
実績値	R3年度	R4年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B			
	278件	272件	273件	250件（500件）	100. 0%			
								緑化活動件数における実施主体別内訳は、次のとおり。企業・団体84件、市町村84件、県82件、国23件。

様式 1（主な取組）

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
目標値250件に対し273件の緑化活動が行われたことから、順調であると判断した。	
(2) これまでの改善案の反映状況	
令和5年度の取組改善案	反映状況
○緑化を推進する他部局との横断的な連携を更に深め、各部局が実施している事業期間のスケジュールやニーズを共有することにより、計画的に緑化推進に取り組めると考える。	○緑化を推進する他部局との横断的な連携を更に深め、各部局が実施している事業期間のスケジュールやニーズを共有し、計画的に緑化推進に取り組んだ。

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
② 他の実施主体の状況(内部要因)	県庁内部においては、緑化活動に対する認識を深め、横断的な取り組みにつながるよう努めているが、未だ取組が十分ではない。	② 連携の強化・改善	引き続き、緑化を推進する他部局との横断的な連携を積極的に深め、各部局が実施している事業期間のスケジュールやニーズを共有することにより、計画的に緑化推進に取り組めると考える。